

# 全体発表会用パワーポイント

## 分科会NO.15 小学校外国語活動教材開発

### 小学校外国語活動 教材開発

1509003 安達勝裕	1509014 伊藤果歩
1509026 菅野綾	1509029 木元博之
1509043 柴田英亮	1509044 柴田良隆
1509048 高橋裕子	1509054 中林侑大
1509058 樋渡実由梨	1509060 堀井和洋
1509062 松川若菜	1509063 松山雅一
1509311 岡田麻美	

### 諸外国の外国語活動における 教育制度

1509003 安達勝裕
1509054 中林侑大
1509060 堀井和洋
1509062 松川若菜

### 概要

- ◆ 1.小学校の外国語教育の開始年度
- ◆ 2.外国語教育の開始学年
- ◆ 3.外国語教育の目標
- ◆ 4. 授業時数

### 1.小学校の外国語教育の開始年度

日本	2011年度から外国語活動として導入
中国	2001年に、英語の必修化を発表し、段階的に都市部から導入。2005年に学年進行で、英語を必修教科として基本的に実施
韓国	1997年に、英語を必修教科として導入
フランス	1989年から外国語教育を導入 2002年に必修教科として導入

### 2.外国語教育の開始学年

日本	小学校5年生
中国	小学校3年生 <small>*地域により異なる</small>
韓国	小学校3年生
フランス	小学校2年生(2007年)

### 3.外国語教育の目標

#### 3-1.日本

- ◆ 言語や文化について体験的に理解を深める
- ◆ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る
- ◆ 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる
- ◆ コミュニケーション能力の素地を養う

# 全体発表会用パワーポイント

## 分科会NO.15 小学校外国語活動教材開発

### 3-2.中国

- ◆ 英語に対する好奇心や興味を養う
- ◆ 英語学習を楽しく好ましいものであると感じることから入り、簡単な英語による遊び・動作・作業、歌やロールプレイに楽しく積極的に参加し、初歩的なコミュニケーション技能を身につける
- ◆ 外国の文化や生活習慣に対する興味と理解を培う

### 3-3.韓国

- ◆ 児童が日常生活において使用する基礎的な英語を理解し、表現する能力を育てる
- ◆ 教科として、意志疎通の基礎となる言語機能能力、中でも音声言語教育が主

### 3-4.フランス

(6～7歳)

- ◆ 異言語学習に対する意欲的な態度形成
- ◆ 新しい言語の音やイントネーションに慣れる
- ◆ 新しい言語についての初歩の知識を身に付ける

(8～10歳)

- ◆ 異言語を使つての実際のコミュニケーションの開始
- ◆ 言語そのもの及びその言語が話されている国の文化への理解の促進

### 4. 授業時数

日本	週1単位時間 ※1単位時間:45分
中国	週4回以上、4回20分(ショートタイム)又は40分(ロングタイム)の組み合わせ。あるいは、いずれかの授業を行う。 第3・4学年は20分が中心。 第5・6学年は20分と40分の組み合わせ。そのうち40分を週2回以上。
韓国	3・4年:週1単位時間 5・6年:週2単位時間 ※1単位時間:原則40分
フランス	週1～2単位時間 ※1単位時間:60分

### 諸外国における教科書の比較

1509029 木元博之  
1509043 柴田英亮  
1509044 柴田良隆  
1509048 高橋裕子  
1509063 松山雅一

### 教科書比較の動機

- ◆ 各国の英語能力の差は教育的な立場から見てどの段階から発生するのか？



小学校の教科書になにかがあるのでは？

**比較する国**

日本 韓国 フランス

# 全体発表会用パワーポイント

## 分科会NO.15 小学校外国語活動教材開発

### 韓国 英語力の実態

- ◆ 中・高 GTEC for STUDENTS
  - 日本 407.8
  - 韓国 414.1
- TOEIC
  - 200万人/450万人→韓国 598 北英語圏で最高点
  - 170万人/450万人→日本 562

↓

日本より韓国のほうが英語力が高い？

### 教科書比較

	単語数	スタイル	ねらい
日本	65	・絵が多い ・ゲームや歌などの活動が多い ・文章よりも活動で使う絵が多い ・聞く、話す为中心	国際競争力を上げる
韓国	241	・絵が多い ・スペル書き取りがある ・活動はゲームや歌など日本と似ている	中学校での学びの動機づけ
フランス	1190	・絵よりも写真が多い ・文章が多く、雑誌のようなイメージ ・聞く、話す、書く、読むの四つがバランスよく活動に含まれている	英語を通して一般的な教養を学ぶ



### 実際の小学校では・・・

---

1509014 伊藤果歩  
 1509026 菅野綾  
 1509058 樋渡実由梨  
 1509311 岡田麻美

# 全体発表会用パワーポイント

## 分科会NO.15 小学校外国語活動教材開発

### 1-1. 小学校訪問

- A小学校の場合・・・6年生の授業  
 →【題材】・・・世界の時刻を英語で表現する  
 →【教師】・・・T1は日本人, T2はALT(インド人女性)  
 →【言語】・・・日本語メイン(ALTの発言で英語に触れる)  
 →【教材】・・・電子黒板(英語ノート②)

#### 【内容】

- 数字の表現を学習する(1～60まで)  
 ゲーム感覚で学ぶスタイル→児童に楽しみを与える  
 電子黒板の使用→生徒の興味関心を引き付ける  
 児童のモチベーション→高い(参加しない児童も)  
 児童の理解度→視覚的情報が効果的  
 (英語が難しい・早い→諦める)  
 学習スタイル→英語ノートに沿う形  
 (クイズやゲームが多い)

### 1-2. 小学校訪問

- B小学校の場合・・・5年生の授業  
 →【題材】クイズをつくる  
 →【教師】T1は日本人, T2はALT(ロシア人)  
 →【言語】日本語がメイン  
 (日本人教師も積極的に英語を使う)  
 →【教材】英語ノート①

#### 【内容】

- ALTと日本人教師の事前の打ち合わせ→曖昧  
 クイズを作成し発表する→児童は積極的に参加  
 児童のモチベーション→高い(何もしない生徒も)  
 学習スタイル→英語ノートに沿う(クイズ)  
 児童の理解度→高い(日本語がメイン)  
 教師が英語に不安? →児童から日本語の要求

## 2. 現場の声

#### 【教師編】

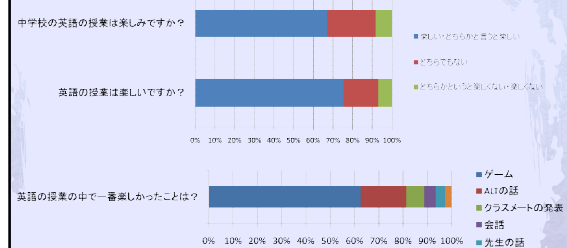
Q,来年から外国語活動を実施するにあたり、課題や不安に思っていることは?

- ◆ 表現することに消極的な児童への指導
- ◆ 適切な評価の仕方

Q,よりよい授業づくりのためにやっていることは?

- ◆ 教材研究
- ◆ 円滑な人間関係づくり
- ◆ 和やかな雰囲気づくり
- ◆ コミュニケーション能力の育成

#### 【児童編】



Q,英語の授業で習った表現を使って何をしたい?

- 第1位 日本にいる外国人と話す
- 第2位 外国へ遊びに行く
- 第3位 海外にいる外国の人と話す

# 全体発表会用パワーポイント

## 分科会NO.15 小学校外国語活動教材開発

### まとめ・考察

- ◆ 外国語教育はその国の現状によって、扱う言語や教育目標が異なる。
- ◆ 教科書で扱う内容に差が生じ、語学検定に能力差が生まれる。
- ◆ 実際の授業を行うにあたり、教師が抱える課題が多くある。

ご清聴ありがとうございました